

高野長英記念館の風景

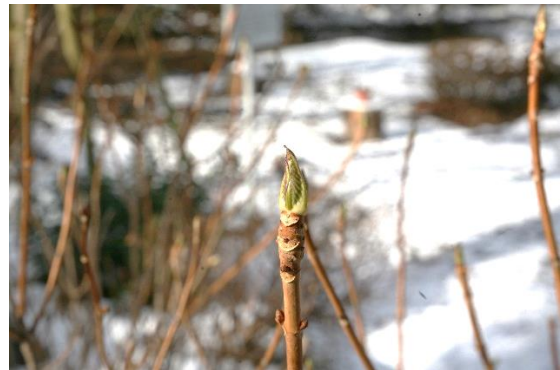
謹賀新年

2025 年・令和 7 年の干支は「巳」(ちなみに高野長英は 1804 年生まれの「子」年です)

巳は神様の使いとして大切にされ 脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボル 多様な価値観をもった人々が集まる多様化社会において 柔軟に対応しながら折り合いをつけて成長し続ける年ということでしょうか



記念館 全景



アジサイ



チャノキ



ヒガンバナ



サザンカ



サクラ

高野長英の手紙

従弟茂木恭一郎への手紙(1844 年・弘化元年正月 12 日)

長英入牢 6 年目の正月、長英 41 歳となり従弟茂木恭一郎へ寄せた手紙である。変わりなく牢屋で新年を迎えたこと、鈴木忠助、米吉等へお金を添えて出した手紙の返事はあったが、恭一郎からの返事がないので心配していると認めている。そして、母のことをいつも夢見て案じ、お金を添えて出獄の望みを託している。